

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	農 業 委 員 会 事 務 局 長
8	うかりともえ	立 憲 社 民		

発言の要旨

<p>1 防災対策について</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災を考える上での鹿児島市の特徴</li> <li>② 個別避難計画対象者数・作成方法・進捗状況・作成目標</li> <li>③ 本市としての要支援者名簿の活用方法及び他都市の取組、その見解</li> <li>④ 本市としての課題</li> <li>⑤ 関係部局との連携強化への見解</li> </ul> <p>(2) 医療的ケア児者等の避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 福祉避難所の対象者とは</li> <li>② 現状の課題・今後の取組</li> </ul> <p>(3) TEAM防災ジャパンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① TEAM防災ジャパンとは</li> <li>② 2024年のぼうさいこくたいに参加した経過</li> <li>③ ぼうさいこくたいで紹介された他都市の取組及びその活用</li> </ul> <p>2 動物愛護について</p> <p>(1) 動物愛護基金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 動物愛護管理センターを含む本市の寄附実績（物品、現金別の件数を本年度含む過去3か年）</li> <li>② 他都市の状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 寄附金を募集している中核市数とそのうち基金設置の中核市数並びに主な用途</li> <li>イ. 基金を設置する中核市で、令和5年度の寄附受入額が高い上位3都市と受入額並びに全体の平均受入額</li> <li>ウ. 鹿児島県内の寄附金募集と基金設置状況並びに主な用途</li> </ul> </li> <li>③ 鹿児島市動物愛護推進協議会の用途に関する意見</li> <li>④ 基金の流れ</li> <li>⑤ 市民等に対する寄附の周知方法</li> <li>⑥ 寄附金の活用で期待される効果</li> </ul> <p>(2) 負傷動物について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 負傷動物への対応</li> <li>② 負傷動物として収容される過去5年間の犬猫の数と1頭当たりにかかる治療費の認識</li> <li>③ 負傷動物への課題</li> </ul> <p>(3) 負傷動物への対応も基金の用途に入れるべきと考えるが見解</p>
--

## 3 農業委員会について

## (1) 農業委員における女性登用について

- ① 農業委員会の概要（活動日数含む）
- ② 農業委員の選定基準等
- ③ 現任の農業委員の男女別の人数と女性の割合及び農業委員の公募方法
- ④ 今回（令和6年10月）の女性応募者の数
- ⑤ 本市の目標人数
- ⑥ 女性登用のメリットに対する認識
- ⑦ 現在、女性登用ゼロの本市の原因
- ⑧ 女性登用に向けた本市の取組状況と課題
- ⑨ 他都市農業委員の女性登用促進に向けた取組の事例
- ⑩ 今後の取組（女性登用と継続的に登用していくことを含め）

## (2) 遊休農地対策について

- ① 遊休農地の現況・農業委員会としてのこれまでの取組内容
- ② 6年度最適化活動目標の評価・課題
- ③ 農業委員の報酬・活動報告
- ④ 活動の見える化への取組
- ⑤ 今後の課題

## 4 有機農業支援事業について

## (1) 有機農業とは

## (2) 今なぜ有機農業なのか

## (3) 有機JASとの関係

## (4) これまでの環境保全型農業の取組の推移（過去3年間の戸数と取組面積）

## (5) 本市が取り組む有機農業支援の現状と新たな支援内容

## (6) 本市としての推進目標・目標達成に向けての今後の取組・課題